

## ◎オプション検査項目

(R8年4月からの料金です)

血液検査		名称	料金(税込)	内容
肝炎ウイルス検査		HBs抗原 HCV抗体	2,460	B型およびC型肝炎ウイルス感染の有無を調べます。 肝機能に異常のある方は、一度はチェックしておくべき検査です。
甲状腺機能		FT4, TSH	3,190	甲状腺ホルモンと甲状腺刺激ホルモンを調べます。
心機能		BNP	2,100	心不全などで上昇し、心機能や心筋障害の指標となります。
腫瘍マーカー	前立腺がん	PSA	2,040	前立腺がんで増加しますが、前立腺肥大でもある程度増加します。
	膵臓がん	CA19-9	2,040	主に膵臓、胆嚢、胆管など消化器系のがんで高値を示しますが、胆汁うっ滞、糖尿病、気管支拡張症、肺がんなどでも高値を示す場合があります。
	肝臓がん	AFP	1,860	肝細胞がんで高値を示します。急性肝炎の初期にも高値を示します。
	消化器系がん	CEA	1,870	がんが進行すると高値を示すことがありますが、血糖値や喫煙の影響も受けます。
関節リウマチの検査		抗CCP抗体 MMP-3	4,000	関節リウマチに特異性の高い抗CCP抗体と滑膜炎で上昇するMMP-3を調べます。中年の女性の方におすすめです。
ペプシノゲン ヘリコバクター・ピロリ抗体		ABC分類	3,960	ヘリコバクター・ピロリ菌の持続感染は、萎縮性胃炎、胃潰瘍、そして胃がんを引き起こすといわれています。萎縮性胃炎は胃がんの発生母地であり、ペプシノゲンの血中濃度が低いと胃がんが発生しやすくなります。ヘリコバクター・ピロリ抗体とペプシノゲンの両者を調べ、胃がんのリスクを評価します。今までにヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療をされたことがない方におすすめの検査です。 ※胃内視鏡検査を受けないと、ヘリコバクター・ピロリ抗体が陽性でも、除菌治療に保険が適用されません。
アレルギー検査		特異的IgE (View-39)	17,310	植物・動物・食物など、39種類のアレルゲン(アレルギーの原因物質)を調べることができます。
血液健康スコア検査マイナインテンゲール		-	14,000	血液検査で250項目を分析し、100点満点形式で血液健康状態をスコア化します。また、10年以内の生活習慣病発症リスクも評価します。

便検査	名称	料金(税込)	内容
便中ヘリコバクター・ピロリ抗原	—	2,200	過去に除菌治療をされたことがあり、その後のピロリ菌の有無を知りたい方におすすめです。 ※便中抗原測定では、便の中のピロリ菌の有無を調べます。免疫の低下がある方でも受けていただけます。 ※胃内視鏡検査を受けないと、便中ヘリコバクター・ピロリ抗原が陽性でも、除菌治療に保険が適用されません。

画像診断	名称	料金(税込)	内容
頸動脈超音波(頸動脈エコー)	—	2,690	超音波で頸動脈を観察し、動脈硬化によって厚くなった血管壁やこびりついたプラーク(コレステロールや線維など)、血栓などを確認することができます。
血圧脈波	ABI, CAVI	1,400	血管を流れる血流の速さや四肢の血圧を測り、血管の硬さ(CAVI)と詰まり具合(ABI)で動脈硬化の程度、血管年齢を調べます。
骨粗鬆症	DXA法	1,540	X線を使って骨密度(骨の強度)を測定し、同年代の健康人の平均値と比較します。
脳MRI/MRA	MRI/MRA	18,810	脳梗塞・脳腫瘍・脳動脈瘤の発見を目的としています。 MRAでは、脳動脈の主要部分を撮影します。
内臓脂肪CT検査	—	4,480	CTにより内臓脂肪量を計測します。 メタボリックシンドロームが気になる方におすすめします。 ※臓器の診断はできません。
腹部CT検査 (内臓脂肪CT検査を含む)	—	11,300	CTによる内臓脂肪量の判定に加え、肝臓・膵臓・腎臓など腹腔内臓器の病変を診断します。超音波検査と併用することにより、がんの発見に有用です。 放射線科専門医による読影を受けることができます。
低線量肺がんCT検査	—	11,300	胸部全体の断層像から肺の病変を調べます。胸部X線では指摘困難な淡い病変も、CTでは描出可能で肺がんの早期発見に有用です。喫煙者や痰・咳などの症状がある方におすすめします。放射線科専門医による読影を受けることができます。

※お申し込みは、ご希望日から1ヵ月前までをお願いします。  
※病気で治療中の方は、主治医の先生と相談してから受診を検討してください。

◎申込方法・・・「人間ドック申込書」に必要事項を記入の上、受付窓口にお出してください。

